

日本福祉文化学会 中部東海ブロック通信 第11号

担当理事：〒425-0041 静岡県焼津市石津 751-1 平田 厚 Email: monogusa-tomy@theia.con.ne.jp

厳しい2020年度の出発、「名古屋発、“福祉文化元年”を築く」第30回学会大会スローガンをいかに、これからのブロック活動につなぐことが出来るか

『第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会/第1回中部東海ブロック大会』から、あっという間に6か月が過ぎました。こんな厳しい社会が来るとは予想すらしていませんでした。とにかく、165名の参加者のもと地元愛知県内の会員を中心に、32名からなる実行委員会運営と、精力的に開催地元委員中心に事務局会議を積み重ね、「名古屋発、“福祉文化元年”を築く」をスローガンに結集して取り組み、無事大会が実現できたことを確認していきたいとおもいます。

17年前の第13回静岡大会(裾野市文化会館 -大会テーマ:富士山麓いのちと暮らしによりそう福祉文化の創造と推進-)と、節目となりました今回の第30回東海大会(中京大学名古屋キャンパス)。これまで2回、中部東海ブロック管内で全国大会が開催出来た実績となりました。特に、第30回東海大会では、中部東海ブロック活動の再生ともいふべき「第1回中部東海ブロック大会」とし、今後のブロック活動の発展性に期待をしています。

第7期の学会ブロック活動計画は、すでに、会員の皆様にはご周知するとともに、このたび発行(2020.3.31)されました「福祉文化研究 Vol.29」に「特集 拝見!ブロック活動:中部東海ブロック編」(5-23p)で「これまでとこれから」を視点にご提示いたしました。改めて、第7期学会活動最後の年度であります2020年度ブロック活動計画を下記に提示いたします。

厳しい社会情勢ではありますが、2020年度「第2回中部東海ブロック大会」開催の実現に向けた努力と共に、第8期学会ブロック活動はいかにあるべきか「会員アンケート」の実施、分散している会員をいかにつなぐことが出来るか「ブロック活動通信」の発行、各会員による地域活動の共有化等、努力をしてみたいです。



<2020年度学会総会・中京大学にて>



<中島実行委員長第30回大会を総括>



<次回開催の沖縄大会代表挨拶>

●2020年度 日本福祉文化学会中部東海ブロック活動計画概要

1. 活動の方向性

- (1) ブロック5県に新規会員拡大の呼び掛けに引き続き努力する
- (2) 各5県に世話人(仮称)をお願いし、ブロック内の活動の共有に努める
- (3) 学会大会を通じて、中部東海ブロック会員の組織化の安定化に努める
- (4) 「第2回中部東海ブロック大会」開催実現に向けたブロック活動に努める

2. 着眼項目

- (1) 学会の啓発活動を通じて、会員加入の積極的な呼掛けと共に、新旧会員相互の連携の維持に努める。
- (2) ブロック通信の発行による“ブロック活動の見える化”に努める。
- (3) 各県会員の状況把握(アンケート実施)の努力と共に、「各県ブロック世話人」(仮称)により、各県域の地域性と福祉文化の創造性について学会活動の継続に努める。
- (4) 各会員の地域における研究・活動の共有化に努める。
- (5) 「第2回中部東海ブロック大会」開催実現に努める。
- (6) その他、ブロック会員から提案事項の実現につなげる努力をする。

3. 具体的な活動内容

- 4月・学会事務局との連絡調整 ・会員アンケート実施の準備 ・ブロック活動事務手続き実施
- 5月・第7期3年次活動確認 ・ブロック通信第11号発行 ・会員アンケート実施
- 6月・第2回ブロック大会に関する連絡調整 ・地域研修会開催（静岡）
- 7月・学会理事会開催 ・会員アンケート集計
- 8月・ブロック通信第12号発行（アンケート結果報告）
- 9月・第2回ブロック大会開催
- 10月・ブロック通信第12号発行（第2回ブロック大会報告） ・地域研修会開催（静岡）
- 11月・第31回学会全国大会沖縄大会開催（学会理事会・総会）
- 12月・ブロック通信第13号発行
- 1月～2月・第8期役員引き継ぎ準備作業 ・第7期ブロック活動実施報告書提出 ・地域研修会（静岡）
- 3月・ブロック通信第14号発行 ・学会理事会 ・第8期役員引き継ぎ

第8期 日本福祉文化学会 「評議員」選挙投票開始 6月20日締切です。

学会事務局より「第8期評議員選挙投票」の連絡があったと思います。これからの学会及びブロック活動のさらなる活性化のために、是非とも、ブロック会員各位の選挙投票よろしくお願ひします。6月20日当日消印有効。このたびの関連資料から読み取れることは、学会会員（200名余）のブロック別所属内訳を見ると、「関東ブロック63名」「関西ブロック54名」「中部東海ブロック32名」「九州ブロック14名」「北陸ブロック13名」「北海道ブロック8名」「中国・四国ブロック6名」「沖縄ブロック4名」と、第7期学会活動開始時点より、「中部東海ブロック」所属会員は約10名程の増となり、ブロック別では3番目に会員所属が多くなっています。特に、愛知県の会員が多く、次に静岡県です。長野県の会員呼び掛けの努力中。

「中部東海はひとつ」をスローガンに、各県に1名ずつの連絡調整員をぜひ実現していきたいものです。

●第30回東海大会参加会員への「アンケート結果」から（抜粋） 学会総務委員会資料より

1. 学会会員として継続している理由
 - ・「福祉文化に興味関心ある」が多数。次に「現場実践家」「全国大会」「ブロック活動」に魅力を感じる。
 2. 学会に望むこと
 - ・「ブロック活動の充実」「福祉文化の学び」「現場実践家の増加」への期待が高い。次に「全国大会の充実」「会費軽減」「研究発表」「機関誌の充実」と続いている。
- 考察として：若年層の会員呼び掛け、そのための活動の方向転換の必要性の意見が多く寄せられている。

福祉文化への興味関心の高さとも関係すると思うが、福祉文化の学び、福祉文化学会の独自性を出すことの必要性があげられている。

●中部東海ブロック関連記録（12月10日～05月30日）

月/日	活 動 内 容
12/30	➢ 「福祉文化研究 VOI.29」原稿提出 学会大会実行委員関係者へ、大会終了のお礼
02/04	➢ 静岡福祉文化を考える会「OUR LIFE 128号」発行(学会HP)
02/15	➢ 第30回学会大会第6回実行委員会開催(総括) 第30回学会大会DVDを県内関係機関・団体に配布
03/12	➢ 学会事務局へ「2019年度後期活動報告」「2020年度前期活動計画」「2019年度会計報告」「2020年度活動費申請書」等提出 ブロック通信第10号発行・発送
03/15	➢ 第2回学会理事会（メール審議実施）
03/24	➢ 「福祉文化研究 VOI.29」40冊届く 関係機関・団体等に配布
03/28	➢ 焼津福祉文化共創研究会3月定例研究会で学会活動状況報告(4/11・4月定例会 5/16 5月定例会)

05/14	➤ 第8期学会評議員選挙投票連絡 学会事務局との連絡調整 (ブロック活動費関連・評議員選挙投票周知依頼有)
05/30	➤ ブロック通信第11号発行・発送 第2回ブロック会員アンケート実施